

令和4年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

生涯学習推進事業

くらし文化部 生涯学習課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

1 事業概要

◆事業名

生涯学習推進事業

◆事業の開始の背景、経緯等

社会教育法に基づき社会教育を奨励するため、学習意欲を気軽に持つきっかけとなる公民館講座や市民が互いに学び合うことができる「ながくて・学び・アイ講座」を開講している。

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

課長：1人

課長補佐兼事業係長：1人

事業係：2人（主担当1人、副担当1人）

3 事業目的等①

◆事業内容（どのような事業なのか）

第2次長久手市生涯学習基本構想に基づき、市民が学習意欲を持つきっかけとなる公民館講座を開講する。

また、市民による自主的な学習及び自主学習サークルの立ち上げの支援を行う。公民館講座には、市内で活動する団体に運営を依頼する協働主催講座と講師も受講生と共に学び合う「ながくて・学び・アイ講座」の2本を軸として展開している。

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市内在住・在勤・在学の人

（講座によっては市外の人も応募可）

3 事業目的等②

◆事業意図（対象をどのような状態にしたいか）

地域人材の育成、地域での学び合い及び仲間づくり・居場所づくりのきっかけとして、市が公民館講座をとおして豊かな学習機会を提供し、市民が学習意欲を高めたり、生きがいを感じたりできるような状態にする。

◆事業を構成する事務事業【今後の方向性】

① 生涯学習推進事業

②

③

4 成果推移

◆成果指標（単位）

全講座アンケートの平均満足度

◆指標の設定根拠

満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、満足感を得ることが、今後の自主的な継続学習や生きがいにつながっていくため

◆数値目標の根拠

受講者アンケートのコメントから講座満足度80%は、受講した講座に満足したか否かの基準値として、読み取ることができるため

5 これまでの振り返り

◆目標達成状況・分析コメント

平均満足度は目標を達成している。アンケート自由回答欄には、講師への高い評価が伺えた。「ながくて・学び・アイ講座」は、スケジュールどおりに講座が進行しなかった場合には、満足度が低下する傾向があった。

したがって、講師も受講生と共に学び合う立場であることを理解し、相互に意見交換する機会を設ける必要がある。

◆活動エピソード

下半期の「ながくて・学び・アイ講座」は、当初公民館での開催を予定していたが、公民館の新型コロナウイルススワクチン集団接種会場としての期間が延長されたため、急きょ他の公共施設と調整し、会場を確保した。

◆改善ポイント

「ながくて・学び・アイ講座」は、受講希望者が参加しやすく、魅力が伝わるような発信方法を工夫する必要がある。特に、講座タイトルや内容、対象者を講師と相談しながら進めるように見直す。

6 事業の今後

◆事業の今後の方向性

任意団体との協働主催講座では、より多くの市民に参加してもらうために、受講生のアンケート結果を反映させて、講座名称、講座内容、開催時間帯等を設定する。

また、「ながくて・学び・アイ講座」では、育成サークルの設立支援を行い、講座終了後の受講生の継続的な学習活動につなげていく。学習の場の自発的活性化を促進することにより、地域住民同士がつながるまちづくりを目指す。

◆事業の中長期の目標

任意団体との協働主催講座では、講座終了後の個人の学習活動の継続を促し、自立した活動が可能になるまで、会則作成についての助言、メンバー募集の周知協力、サークル間交流の斡旋や講師人材紹介などの伴走支援を行う。

また、「ながくて・学び・アイ講座」では、講座終了後、2か月以内には育成サークルが立ち上がるようにする。

7 事業のまとめ

◆事業の課題など

どのような講座が行われているのか、その存在や内容の周知方法に課題があると考えます。

講座の情報誌「スマイル」をより多くの市民に手に取っていただけるように努め、より多くの参加を促進できる環境を整備する。

◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

生涯学習事業は、市民同士が学び合う企画を自発的に行っていくきっかけづくりに重点をおいているが、どうしても行政頼みの構図になりがちである。これらの改善についてご助言いただきたい。